

項目	内容
名称	セイヨウノコギリソウ、ヤロー [英]Yarrow [学名]Achillea millefolium L.
概要	<p>ヨーロッパ原産のキク科の多年草。世界中の温暖な地域に自生している。高さは約1mで、1本の茎に芳香性の葉がつく。夏に白色または淡紅色の小さな花を散房状に多数つける。</p>  <p>写真提供: 薬用植物資源研究センター</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <p>■ 海外情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国では、GRASに該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・アミノ酸、脂肪酸、アスコルビン酸、カフェイン酸、葉酸、アルカロイド、フラボノイド、ステロール、トリテルペンなどを含む (7) (81) (PMID:7097536) (PMID:1195115)。 ・精油は、アズレン、α-およびβ-ピネン類、リモネン、ボルネオール、カンファー、ツヨン、セスキテルペノイド、アルカロイドなどを含む (7) (23) (29) (33)

(81)。

・市販のセイヨウノコギリソウ製品 (医薬品) 40種を、精油、プロアズレン (proazulene)、ジカフェオイルキナ酸 (dicaffeoylquinic acid)、フラボノイド含量について分析したところ、欧州薬局方の基準に合う製品は50%だったという報告がある ([PMID:18271298](#))。

分析法

・セイヨウノコギリソウ中のフラボノイドをCE法およびHPLC法により分析した報告がある ([PMID:18164574](#))。

・セイヨウノコギリソウ中のフェノール類をSPE-HPLC/UV法により分析した報告がある ([PMID:17511000](#))。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	RCT ・軽い歯肉炎患者45名 (試験群30名、オランダ) を対象とした無作為化プラセボ対照試験において、セイヨウノコギリソウ、セイヨウネズ、イラクサの混合物 (1 : 1 : 1) を6.3 mg/mL含む口腔洗浄液10 mLで1日2回、3ヶ月間口腔洗浄を行なったところ、プラーク指数や口腔内出血に影響は認められなかった (PMID:9650877)。 。

ヒトでの評価

参考文献

- (7) 中薬大辞典 小学館
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(23) 天然食品・薬品・化粧品的事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シエヴァリエ
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
(81) Herbal Medicines Third edition (Pharmaceutical Press)
[\(PMID:18271298\) Pharmazie. 2008 Jan;63\(1\):23-6.](#)
[\(PMID:7097536\) J Pharm Sci. 1982 Jun;71\(6\):690-3.](#)
[\(PMID:1195115\) J Pharm Sci. 1975 Nov;64\(11\):1838-42.](#)
[\(PMID:18164574\) J Pharm Biomed Anal. 2008 Feb 13;46\(3\):609-14.](#)
[\(PMID:17511000\) Chem Biodivers. 2007 May;4\(5\):849-57.](#)
[\(PMID:9650877\) J Clin Periodontol. 1998 May;25\(5\):399-403.](#)